

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2021年2月6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌宮の森校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個室を作り、集中できる環境を設定。決して広い空間とは言えない為、机上で取り組める課題や遊びを工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差等は無く安全面に考慮しているが、今後は更に細かいユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが分かりやすい環境を作る事を検討。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の朝礼や終礼で情報を共有。週間予定表等に細かいスケジュールを記載し職員が何をすべきかを考えられるよう工夫している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		内部監査を行い漏れがないように確認している。今後は、第三者による外部評価も検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修計画を初年度に立て、幅広い研修を全職員が受講できるよう工夫している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇等での宿題や課題がある場合には、普段取り組んでいる課題を変更する等柔軟に対応している。その都度、保護者や児童にニーズを確認し取り組んでいる。

	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		基本的に個別療育がメインではあるが、不定期にクラ・ゼミ広場というイベントを企画し他児と物や場を共有する機会を設けている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、朝礼・終礼を行い情報共有を行っている。毎月、運営会議を行い会議の中でも支援内容や役割分担等について確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、朝礼・終礼を行い情報共有を行っている。毎月、運営会議を行い会議の中でも支援内容や役割分担等について確認している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑯ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			担当児童の職員も、もっと会議に参加出来るよう調整を図っていきたい。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			全ての学校では無いが、メール等でやり取りを行い確認を行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児童無し
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			全ての児童では無いが、ケース会議や電話での情報交換を行っている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				対象児童無し。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		助言を受ける機会はあるが、研修としてはなかなか参加出来ていないので参加できる体制を検討していきたい。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	災害時等に備えて近隣の地域と交流出来る機会を増やして行きたい。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会からの研修資料等は、全職員で閲覧し共有している。

	(28) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	(29) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談等で保護者と話す時間を設けてはいるが、もっとゆっくりと話す時間の確保を検討していきたい。
保護者への説明責任等	(30) 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	(31) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	(32) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	家族向けの研修や情報提供は行っているが、保護者同士が連携出来る場は設けていない為、今後検討していきたい。
	(33) 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	(34) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月2回のブログを更新し情報を発信している。
	(35) 個人情報に十分注意しているか	○			
	(36) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			フィードバックは子どもの様子を見て、送迎時ではなく電話で行う等の柔軟な対応をとっている。
	(37) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		クラ・ゼミ広場の参加は、利用者の兄弟やお友達等地域住民を対象としている。
非常時等の対応	(38) 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			訓練を行いマニュアルはあるが保護者へなかなか浸透していない為、周知する幅や回数を増やしていきたい。
	(39) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年3回テーマを決めて、防災訓練を実施している。
	(40) 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	(41) どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	(42) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	(43) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌宮の森校 保護者等数（児童数）：49 回収数：30 割合：61 %

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	2		子ども達が入れ替わる時に、スペースとして狭い感じがする。→フィードバックの場所や時間を分散し出来るだけ密にならないよう配慮致します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	10	5	駐車場台数が少なく、停めれなかったり路駐されると出れない事がある。→台数に限りがある為、停めれない場合は職員が車までお子様をお連れします。必要に応じフィードバックは電話等で後日対応させて頂きます。 手すりはあるが、バリアフリー化は出来ていないように感じる。→段差等は無くしていますが、ユニバーサルデザイン等も取り入れ誰もが分かりやすい環境設定を検討していきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	29	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	26	4		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	6	20	特に希望していない
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるいるか	27	3		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	3		親子共に困った時は、アドバイスして頂きとても助かっています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	14	15	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	8		そのような場面は無いが、希望や要望には迅速に対応してもらっている。

	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	4		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	6		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	28	2		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	2		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	9	1	
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	24	5	1	とても楽しみにしています。→ありがとうございます。更に楽しくなる取組みを考えて参ります。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	27	3		要望はあるが、満足している。→ありがとうございます。フィードバック等の際に要望等こちら側からも聞きとるよう配慮致します。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。